

平成28年度事業報告及び平成28年度収支決算報告

平成28年度監査報告

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1 はじめに

当協会は、平成元年 4 月に社団法人として発足し、平成 23 年 6 月からは公益法人制度改革による公益社団法人として神奈川県認定を受け、産業廃棄物の適正処理及び資源循環の担い手として様々な事業を実施してきた。

2 社会経済状況

平成 28 年度の我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いたが、個人消費や民間設備投資に関しては、所得、収益の伸びに比べ力強さを欠いていた。

神奈川県経済も、総じてみれば景気回復の動きが鈍かったが、米国景気の回復や円安の効果で輸出や生産が増勢を取り戻し、平成 28 年末には企業の景況感や消費マインドに改善が見られた。

産業廃棄物処理業においては、全国的には産業廃棄物排出量の漸減傾向の中、需要の停滞、価格競争の激化や人手不足などの懸念材料もあるが、全産連の「産業廃棄物処理業景況動向調査」によれば、業況判断は（2016 年 7-9 月期）と（2016 年 10-12 月期）の 2 期連続での改善となった。

3 行政の取組み

国においては、5 年ごとの法施行状況の検討を踏まえた廃棄物処理法の改正案が今国会に提出された。適正処理の推進、健全な資源循環の推進に向けた更なる取組みが進められるほか、廃棄物処理分野における地球温暖化対策についても取組みを強化した。

また、神奈川県では、災害廃棄物等処理計画及び循環型社会づくり計画が平成 28 年度末に改定され、協会との更なる連携強化が図られた。

4 協会の取組み

こうした中、当協会は、平成 28 年度社員総会の議決に基づき、平成 29 年 4 月 1 日から名称を変更した。平成 28 年度は、変更をスムーズに行うための諸準備を進めるとともに、適正処理と資源循環の推進に向け、コンプライアンスの徹底、労働災害の防止、災害廃棄物処理の対応などにも注力し、次のとおり事業を行った。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布し(804,700セット、3月31日現在)、排出事業者等に対してはセミナー等にて電子マニフェストへの加入を促進しました。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知の準備を行っています。(年2回実施予定)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
28.8.10	28.11.1～29.5.31	158 社
29.3.27	29.6.1～30.1.31	71 社

(ウ) 許可講習会等実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務への従事者、実務者に対する講習会等の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

講習会名・講習内容		開催日	受講者	会場
新規 許可講習会	収集・運搬課程	28.7.27～ 28	164 名	かながわ労働 プラザ(横浜市)
		28.9.29～30	146 名	
		29. 3. 7～ 8	151 名	
更新 許可講習会	処分課程(収集・運搬課程と合同)	28.5.17～20	処分課程 158 名 収集運搬 113 名	
		特別管理産業廃棄物収集運搬課程	29.2.7～9	
更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃棄物収集運搬課程)	28. 6.29	160 名	
		28. 8.25	159 名	
		28.10.27	161 名	
		28.12.20	161 名	
		29. 3. 9	171 名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	処分課程(収集・運搬課程と合同)	28.11.8～9	処分課程 117 名 収集運搬 80 名	
		28. 6.30	160 名	
		28. 7.29	159 名	
		28. 8.26	159 名	
		28.10.28	143 名	
		28.11.10	90 名	
		28.12.21	143 名	
		29.2.10	133 名	
29.3.10	148 名			

医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	29.1.17	72名	
全産連 実務者研修	28.7.20	129名	

(エ) 排出事業者・行政との懇談会事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会議名	開催日	場所	出席者数
神奈川県労働局との情報交換会 産業廃棄物業界の労働災害防止について	28. 4.25 28 .9.27	協会会議室	6名 7名
県央地区委員会と行政との勉強会	28. 4.19	厚木アーバンホテル	17名
湘南・県西地区委員会と行政との勉強会	28.11.18	小田原市民交流センター	29名
廃棄物対策協議会及び(公社)神奈川県環境保全協議会との懇話会(湘南・県西地区委員会、研修委員会)	29. 2.17	平塚商工会議所	85名

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業に参加・協賛等して不法投棄・不適正処理の防止を普及啓発しました。また、不法投棄物の撤去を受託して不法投棄防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止キャンペーン

委員会名	実施日	地域	実施場所	主催・実施主体	事業内容
横浜地区委員会	28.7.31	横浜市	山下公園、象の鼻パーク開港波止場	小さな親切運動 神奈川県本部	山下公園及び象の鼻地区一帯のごみ拾い(約 1,023 人参加)横浜地区 31 名参加
湘南・県西地区委員会	28. 5.29	藤沢市内	湘南海岸	第 40 回ゴミゼロクリーンキャンペーン	不法投棄の防止・美化キャンペーン、約 20 名(全体で 5,584 名)
	28. 5.30	箱根町、南足柄市、山北町、湯河原町		山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止連絡協議会	不法投棄防止一斉パトロール: 全体 21 名(5 名)
	28. 7. 9	平塚市内	七夕祭り会場	クリーンボランティア実行委員会	エリアを巡回して落ちているゴミの回収 クリーンボックスで来場者に会場から出るゴミの分別(可燃、ビン、缶、ペットボトル)をお願い
	28.10.21	秦野市内	菜の花台、震生湖	秦野地区不法投棄防止キャンペーン実行委員会	可燃ごみ 110Kg 不燃ごみ 110Kg 粗大ごみ 50Kg

(イ) 適正処理顕彰事業

a 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期
功労者表彰	7 名	28.6.15 平成 28 年度定時社員 総会
優良事業所表彰	12 社	
優良従業員表彰	32 名	

b 公益社団法人全国産業廃棄物連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期
功労者表彰		28.6.17 第 6 回定時総会
地方功労者表彰	7 名	
優良事業所表彰		
地方優良事業所表彰	13 社	
優良従事者表彰	5 名	

c 産業廃棄物関係功労者環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係功労者環境大臣表彰	1 名	28.11.11 第 15 回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」〈岡山県〉

d 神奈川県環境保全功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	1 名	28.11.17 神奈川県庁

e 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	3 名	28.7.11 開港記念会館

ウ 調査研究に基づく普及啓発

適正処理調査研究・普及啓発事業

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行いました。

平成 29 年度予算及び施策に関する提言

提言先	提言日
自由民主党 (神奈川県支部連合会)	28. 6.10
公明党 (神奈川県議会議員団)	28. 7.26
神奈川県知事、横浜市長、川崎市長、 相模原市長、横須賀市長	28. 8. 4

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物とその処理に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理を普及啓発しました。また、会員への情報発信の改善に取り組みました。

ア 法令・行政情報等の収集・提供

法令、行政情報、会員情報、災害廃棄物情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する資料を提供しました。

○ 行政や関係団体からの各種通知、案内等

行政や関係団体からの情報については、随時会員に通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・ 会員への行政情報等の提供：月2回程度送付（随時）
- ・ ホームページへの掲載：月2回更新（上旬、下旬）

イ ホームページによる情報提供

協会のホームページを見やすく使いやすくするため、主要行事や協会事業の一覧表の掲示といった改善に努めるとともに、会員に対してのお知らせとして、安全衛生大会や定時社員総会の速報、安全衛生スローガン、協会の宣言を掲示しました。また、会員への情報発信の更なる改善を図るため、情報活用部会において検討を行っています。

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「かながわ産廃」に、産業廃棄物に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

機関誌「かながわ産廃」発行事業

- ・ 機関誌「かながわ産廃」年4回作成し、会員・関係機関等に配布及び有償頒布

号数	発行日	特 集	発行部数
第108号	28.4.20	特集① 平成28年度県・政令市の施策事業概要 特集② RCFの健康障害防止措置が義務付けられました	850部
第109号	28.7.22	特集① 平成28年度定時社員総会開催 特集② 平成29年度予算及び施策に関する提言 特集③ 安全衛生対策の推進	850部
第110号	28.10.21	特集① 平成28年度川崎地区セミナー 特集② 建設廃棄物の適正処理に関する講習会	850部
第111号	29.1.23	特集① 水銀血圧計等の回収事業について 特集② 災害廃棄物処理について学ぶ 特集③ 第6回安全衛生大会の開催	850部

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。また、全国産業廃棄物連合会と連携し、当協会の平成29年度労働災害防止計画を策定しました。

ア 安全衛生パトロールや安全診断等による普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決し、処理業者の職場改善を行いました。また、労働安全衛生の専門家を同行して内容を深めるとともに、現地で参加者を対象に労働安全衛生ミニセミナーを開催しました。

安全衛生パトロールの実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール	28.7.12	県央地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働安全衛生ミニセミナー開催)
	28.9.12	川崎地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行)
	28.10.20	横須賀地区委員会主催 地区内事業所(専門家同行、労働安全衛生ミニセミナー開催)
	29.2.10	横浜地区委員会主催 地区内事業所
安全診断 巡回相談	28.4.18	神鋼産業株式会社
	28.8.8	大環サービス株式会社
	29.1.25	ジャパンバイオエナジー株式会社

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

実施日	参加人員	場所	内容・実施
28.5.19	123名	横浜市情文ホール(横浜市)	<ul style="list-style-type: none"> ▪安全衛生スローガンに関する表彰式 ▪産業廃棄物処理業界における労働災害防止対策の取組に向けて ▪ここは直そう！ 処理現場でよく見かける問題事例
28.12.2	56名	大和商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ▪廃棄物処理業における安全衛生管理のすすめ方 ▪忙しい時こそ指差呼称 ▪産業廃棄物処理業から墜落・転落事故をなくそう！

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「かながわ産廃」に掲載するほか、「初歩の労働災害防止マニュアル」の普及に努め、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

安全衛生協議会表彰受賞者

区 分	表彰対象	表彰時期
安全衛生活動表彰 5年表彰	1社	28.6.15 平成28年度定時社員総会
安全衛生活動表彰 年度表彰	18社	
安全衛生活動優良役員・従業員表彰	5名	
緑十字表彰	1名	28.10.19 第75回全国産業安全衛生大会

(4) 連合会等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 連合会等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受けて、情報の収集、共通課題の協議・調査研究、課題解決を進めました。特に、当協会役員が医療廃棄物部会、法制度委員会、同委員会タスクフォース、安全衛生委員会、建設廃棄物部会に委員として参加し、各事業を推進して、適正処理を普及啓発しました。

(ア) 連合会連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 第5回定時総会

開催日	会 場
28.6.17	明治記念館(東京都港区)
29.2.24(臨時)	明治記念館(東京都港区)

b 理事会

開催日	会 場
28.5.24(第29回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
28.6.17(臨時)	明治記念館(東京都港区)
28.7.12(第30回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
28.10.12(第31回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
29.1.13(第32回)	明治記念館(東京都港区)
29.2.24(臨時)	明治記念館(東京都港区)
29.3.14(第33回)	公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)

c 正会員会長会議

開催日	会 場
29.2.24	明治記念館(東京都港区)

d 正会員事務局責任者会議

開催日	会 場
28.7.29	アジュール竹芝(東京都港区)
29.2.3	

e 委員会・部会・連絡会

開催日	名 称・会 場
28.8.17 28.11.21 28.12.6	法制度対策委員会(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
28.7.28 28.10.4 28.12.9 29.3.21	法制度対策委員会タスクフォース(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)
28.4.27 28.7.22 29.1.25	安全衛生委員会(全産連) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会(東京都港区)

f 関東地域協議会会長会議及び協議会等

開催日	内 容(会場)
28.4.22	第 56 回会長会議・協議会(青山ダイヤモンドホール(東京都港区))
28.11.25	第 57 回会長会議・協議会(群馬県)

イ 全国大会での適正処理の推進

公益社団法人全国産業廃棄物連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加し、全国の協会員等と共同して適正処理の普及啓発を行いました。

第 14 回産業廃棄物と環境を考える全国大会

開催日	会 場
28.11.11	ホテルグランヴィア岡山(岡山県)

ウ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等の関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(連携した関係団体)

- 公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- 公益財団法人かながわ海岸美化財団
- 一般社団法人東京都産業廃棄物協会(建設廃棄物委員会)
- 一般社団法人神奈川県建設業協会
- NPO 法人かながわ環境カウンセラー協議会
- 神奈川県ホームレス協議会

(5) 体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程の見学・体験を行いました。

2 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理の意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会を開催しました。

また、会員の満足度が高くて参加しやすい行事とするため、取組を進めています。

ア 講習会等開催事業

(ア) 県受託産業廃棄物講習会

開催日	参加者数	場 所	講習内容
28.12.8	56 名	神奈川県労働プラザ	技術管理者講習会
29.2.8	72 名	神奈川県労働プラザ	処理業者講習会

(イ) 研修委員会 電子マニフェスト操作講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
28.4.21-22	28 名	協会会議室	初級者向け電子マニフェスト入力方法 講師:(公財)日本産業廃棄物処理振興センタ ー職員 * は相談会参加者
28.5.31-6.1	28 名	協会会議室	
28.7.5-7	26 名+ *6 名	協会会議室	
28.8.2	12 名	Winschool 厚木	
28.9.20,21,23	23 名+ *1 名	協会会議室	

(ウ) 経営研修会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
28.11.24	34 名	神奈川県中小企業 共済会館	最近の企業における暴力団対策について 事故はなぜ繰り返されるのか? ~ヒュー マンファクターズの視点~

(エ) 医療廃棄物適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
28. 7. 1	106 名	情文センター(横浜市 内)	医療廃棄物の適正処理、欠格要件、 ほか(対象:医療従事者)
28.12. 2	73 名	(株)クレハ環境(川崎市)	

(オ) 建設廃棄物の適正処理講習会

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
28.9.23	123 名	情文ホール	建設廃棄物の適正処理について

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会 場	内 容
横 浜	28.11.25	50 名	神奈川労働プラザ	横浜市の適正指導 安全衛生の課題と対策
川 崎	28.7.12	49 名	川崎市産業振興 会館(川崎市)	第 6 次川崎市産業廃棄物処理指導計 画、水銀の取り扱い、欠格要件
横須賀	28.11.30	20 名	ヴェルクよこすか (横須賀市)	欠格要件について
県 央	28.11.22	57 名	厚木アーバンホテ ル(厚木市)	災害廃棄物処理
湘南・県西	28.8.5	24 名	平塚商工会議所 (平塚市)	欠格要件について
青年部会	28.7.8	28 名	東日本コベルコ建 機(株)	東日本コベルコ建機(株)による重機労 働災害防止研修会

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見 学 施 設
横 浜	29.2.21	20 名	JFE 環境(株)横浜エコクリーン
川 崎	28.11.22	22 名	群桐エコロ(株)クリーンセンター
横 須 賀	29.2.21	10 名	光洲産業エコファクトリーYOKOHAMABAY
県 央	28.9.16-17	16 名	宮城県石巻港湾事務所および大川小学校跡地
研 修	28.11.11-12	20 名	三菱マテリアル(株)直島製錬所(三菱マテリアル PLANT ツアー) / 有価金属リサイクル施設(エコツアー)
建設廃棄物特別	28.11.16	16 名	(株)シタラ興産 サンライズ深谷
青 年 部	28.10.7	28 名	東京ボード工業(株)、(株)春江

ウ 安全運転教習

労働災害の防止を図るため、会員等の従業員の自らの運転の課題について気づいてもらうため、ドライブレコーダを用いた体験型の安全運転講習を実施しました。

実施日	参加人員	実施場所
29.2.21、23、28、3.8	12名	三ツ境自動車教習所(横浜市)

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

- ・青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者数	場 所	活 動 内 容
28.6.1-2	延べ180名	臨港パーク内(横浜市)	「横浜開港祭」(80万人参加)で発生した廃棄物の分別指導を通じ、廃棄物の適正処理の普及啓発の実施。

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言し、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

平成25年4月1日に大磯町と地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定を締結したことにより、現在、県との基本協定のほか13市町(横浜市、川崎市、横須賀市、葉山町、相模原市、開成町、平塚市、小田原市、秦野市、箱根町、鎌倉市、藤沢市、大磯町(協定の締結順))と締結済みとなっています。以上の市町を面積で見ると全県の64%をカバーしており、人口では84%をカバーしています。

なお、県との基本協定については、平成29年4月の新協定締結に向け調整を行いました。併せて、県の災害廃棄物処理業務マニュアル作成についても意見交換を行いました。

5 専門委員会、地区委員会の開催

○ 各委員会等の開催状況は、次のとおりです。

委員会等名	開催日程	委員会等名	開催日程
企画・財政委員会	5回 5.13 7.21、9.6、12.13、29.3.2	横浜地区委員会	4回 28.5.10、7.13、11.25、29.1.24
広報委員会 (情報活用部会)	4回 28.5.11、8.24、11.7、29.2.9 (3回 28.8.24、10.19、29.2.8)	川崎地区委員会	3回 28.4.20、7.12、29.1.26
研修委員会	4回 28.5.18、7.15、10.4、29.1.27	横須賀地区委員会	4回 28.5.12 7.6、10.20、11.30
福利厚生委員会 (表彰審査会)	1回 29.2.22 (1回 29.2.22)	県央地区委員会	4回 28.4.19、7.12、11.22、29.2.10
建設廃棄物特別委員会	2回 9.23、11.16	湘南・県西地区委員会	7回 28.4.8、6.24、8.5、9.2、10.4、11.18、29.1.19
医療廃棄物部会	5回 28.4.5、5.12、7.20、8.30、29.1.20		
安全衛生協議会	3回 28.4.25、9.27、10.24	青年部会	全体会1回、定例会11回ほか、幹事会11回、研修会1回
役員選考・推薦委員会	1回 28.6.15		

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等の相互扶助事業を行いました。

行事名	開催日	会場	参加者数
第49回KIWA会ゴルフコンペ	28.4.28	磯子カントリークラブ	23名
第50回KIWA会ゴルフコンペ	28.11.17	小田急藤沢ゴルフクラブ	24名
社員総会懇親会	28.5.15	ホテルモントレ横浜	250名
賀詞交歓会	29.1.18	ホテルモントレ横浜	218名
観劇会(シルク・ドゥ・ソレイユ トーテム)	28.4.23	お台場ビックトップ	30名

2 会員に対する情報誌の配布に関する事業

会員に公益社団法人全国産業廃棄物連合会の機関誌「いんだすと(INDUST)」を配布しました。

発行日	名称	配布部数
28.4~29.2	「いんだすと(INDUST)」28.4月~29.2月号	各550部

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

ア 平成 28 年度定時社員総会

開催日	場 所	出席者	議 案
28.6.15	ホテルモン トレ横浜(横浜 市)	出席120社 委任状214社 書面議決60社 合計394社	【議事】 1 平成27年度事業報告及び平成27年度収支決算報告、平成27年度監査報告 2 役員選任 3 定款の改正 【報告事項】 1 平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰 【講演会】 廃棄物・リサイクルをめぐる内外の動向及び地球温暖化への取組み(日本環境衛生センター理事長南川秀樹氏)

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開催	開催日	場 所	出席状況	主 な 協 議 事 項
第4期 第4回 定時理事会	28. 5.18	中小企業共 済会館	理事 21 名 監事 1 名	1 業務執行状況について 2 平成 27 年度事業報告・収支決算報告 3 平成 29 年度施策・予算への提言
第4期 第5回 定時理事会	28. 6.15	ホテルモン トレ横浜	理事 23 名 監事 1 名	1 業務執行状況について 【その他】 1 県・政令市からの情報提供
第4期 臨時理事会	28. 6.15	ホテルモン トレ横浜	理事 23 名 監事 1 名	副会長・常任理事等の互選
第4期 第6回 定時理事会	28. 9.15	大和地所ビ ル6F	理事 17 名 監事 1 名	1 業務執行状況報告 2 災害廃棄物の処理等に関する協定の見直しについて
第4期 第7回 定時理事会	28.12.21	大和地所ビ ル6F	理事 19 名 監事 1 名	1 業務執行状況報告、 2 ブランディングプロジェクト検討結果
第4期 第8回 定時理事会	29. 3. 8	大和地所ビ ル6F	理事 22 名 監事 2 名	1 業務執行状況報告 2 平成 29 年度事業計画・収支予算

イ 正副会長会議、他

開催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第 1 回正副会長会議	28.12.13	横浜情文センター大会議室	正副会長 6 名 事務局 3 名	名称変更に伴うブランディングプロジェクトの検討結果報告等
第 1 回正副会長+常任理事会	29.3.8	協会会議室	正副会長 4 名 専務理事 1 名 常任理事 10 名 事務局 1 名	協会の組織等について

エ 常任理事会を中心にした協会の課題の検討

各カテゴリーの課題	内容
1 協会の目指すものは何か	終了(協会の宣言)
2 会員増強・運営基盤強化のため	終了(理事会による取組)
3 協会事業の活性化・魅力・満足度アップのため	終了(協会事業のルール制定)
4 情報発信の改善のため	終了(ホームページ等の改善)
5 社会的地位や認知向上のため	継続
6 事務局の課題	終了(理事会資料事前送付等)
7 関係団体との連携(新設)	継続

オ 県・政令市との産業廃棄物問題懇談会・情報交換会

開催日	場所	内容	参加者
28.12. 21	大和地所ビル 6 階	災害廃棄物処理業務マニュアルの検討状況と課題 他	県幹部等 8 名 理事 19 名

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、常任理事会の取組の一環として、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿作成・修正事業

ア 平成 28 年度の会員の異動状況は、次のとおりです。

区 分	会員数 (H28.3 末現在)	会員数 (29.3.31 現在)	異 動 状 況		会員数 (29.3.31 現在、増減)
			加 入	退 会	
正会員	499	494	5	10	494(-5)
賛助会員	51	53	8	6	53(+2)
合 計	550	547	13	16	547(-3)

【注、平成 29 年 3 月 31 日の数値】

(2) 会費収入管理事業

会員から納入された会費を管理しました。

3 事業報告等の提出及び公益法人変更登録等

平成 28 年度定時社員総会における平成 27 年度事業報告・収支決算報告及び平成 28 年度事業計画・収支予算並びに役員選任を受け、横浜法務局において役員変更登記、神奈川県へ事業報告等の提出及び変更届等の提出を行った。また、定款の変更については平成 29 年 4 月 1 日付けでの変更登記を行った。

4 事務局の運営

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) 調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）

連合会や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) 連合会総会等参加事業

連合会通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) 事務局管理運営事業

その他協会運営に必要となる事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。

(以上)

監査報告書

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度に係る事業報告及び計算書類等の監査を当協会の事務所において行いましたので、その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会等に出席し、執行状況について報告や説明を受け、業務及び財産の状況の調査等を行うことにより、当該事業年度に係る事業報告及び、当該事業年度に係る計算書類等について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ・事業報告は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に対して重大な違反事実は認められませんでした。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

- ・計算書類等（貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）は、法人の財産及び正味財産増減の状況を適正に示しているものと認めます。

平成29年5月10日

監事

森川 友由男



監事

三谷 淳

